

平成30年度 配水管、給水管に関する仕様について

配水管について

- φ50～75mmは配水用ポリエチレン管、φ100mm～はダクタイル鋳鉄管GX形を使用すること。
- ダクタイル鋳鉄管(GX形)について
 1. GX形はポリエチレンスリーブを被覆することになったため、管明示テープは貼らなくて良い。
 2. ポリエチレンスリーブを固定するゴムバンドは、必要個数を確認して施工すること。
 3. フランジ継手部はLSPフランジ補強金具を使用すること。また管径φ150mm以上のフランジ継手部については後付フランジ補強金具も使用すること。(不断水仕切弁、割丁字管、消火栓、空気弁にも適用する。)
 4. 消火栓、空気弁については、副弁も含めてLSP補強金具をセット価格として設計計上しているので資材を発注する際は、ご注意ください。
- 配水用ポリエチレン管について
 1. 管下の砂基礎は原則行わない。ただし、掘削後の床が管に悪影響を与える場合は監督員と協議すること。
 2. 継手はEF継手を原則とする。ただし施工が困難な場合は監督員と協議すること。
 3. 管明示テープを貼ること。
 4. 仕切弁はPE挿し口付ソフトシール仕切弁を標準とし、消火栓・空気弁はPE挿し口付鋳鉄製T字管等を標準とする。ただし施工が困難な場合は監督員と協議すること。
 5. サドル分水については、ねじ込み式を標準とするがEFを使用しても良い。
 6. メカニカル継手を使用する場合は必ずインコアを入れること。

	ダクタイル鋳鉄管(GX形)	配水用ポリエチレン管
ポリエチレンスリーブ	○	× ※ただし鋳鉄製異形管は被覆する
管明示テープ	×	○

- 工事写真について
 1. 砂基礎、路盤工の厚さ管理写真は下がり管理ではなく、掘って厚さを検測して撮影して下さい。
 2. 土留工の施工・撤去状況(全景)、設置完了(建込み高さ、根入れ長、建込み延長、全景)を撮影すること。
 3. 管布設状況の写真(機械吊り込みの使用機械が分かるような全景写真)を撮影すること。
 4. 継手のチェックシートに則った状況の写真(GX形、配水ポリエチレン管の融着部)を撮影すること。
※別紙参照
 5. 施工中の安全施設全景写真を撮影すること。
 6. 給水装置の宅内側接続については全景写真を撮影してください。(出来形管理等は不要)
 7. 設計書に記載されている種目等の施工状況を撮影すること。
 8. 施工状況等については、背景で撮影箇所がわかるように撮影して下さい。

給水管について

- 給水装置工事設計審査申請書、給水装置工事しゅん工検査申請書、給水管工事申請書、給水管工事完了届の様式を一部変更しました。
- 給水装置工事の提出写真
 1. 給水管理設状況(埋設深さ、建物からの距離、材質刻印のアップ写真)を撮影すること。
 2. 建物内の配管状況、器具設置状況、器具仕様認証マークのアップ写真を撮影すること。
 3. 水圧テスト状況、圧力、時間を撮影すること。

工事写真管理(布設工編)

ダクタイル鋳鉄管 GX形

項目	撮影内容	撮影方法等
鋳鉄管吊込み据付	据付状況	吊り込み機械が写るように撮影すること。 施工状況写真等はなるべく全景で撮影してください。
鋳鉄管切断工	切断面補修剤塗布	
継手接合	挿入標線マーキング完了	
継手接合	ライナ挿入、G-Link、P-Link設置	
継手接合	ゴム輪挿入	
継手接合	受口・挿口清掃滑剤塗布	
継手接合	挿入状況(レバーホイスト、チェーンブロック等使用)	
継手接合	挿入標線確認	
継手接合	ゲージ確認	
継手接合	完了	
被覆工	ポリエチレンスリーブ被覆完了	

配水用ポリエチレン管

項目	撮影内容	撮影方法等
EF接合	融着面マーキング	施工状況写真等はなるべく全景で撮影してください。
EF接合	切削状況	
EF接合	切削完了	
EF接合	受口・挿口清掃状況	
EF接合	挿入標線マーキング	
EF接合	クランプ固定	
EF接合	融着前インジケータ確認	
EF接合	バーコード読み込み	
EF接合	融着開始(〇〇時〇〇分)	
EF接合	融着後インジケータ確認	
EF接合	融着及び冷却完了(〇〇時〇〇分)	
メカニカル接合	インコア挿入	
メカニカル接合	挿入標線と締付け状況、挿入完了	
メカニカル接合	ポリエチレンスリーブ被覆完了	

不断水割丁字管設置工

項目	撮影内容	撮影方法等
割丁字管取付け	既設管清掃 設置状況 穿孔状況 穿孔完了、切片確認 設置完了	施工状況写真等はなるべく全景で撮影してください。

平面図

(例)



縮尺 1 : 1500

10 5 0 10 20 30 40